

# 進めています！自己改革



今、私たちは、「**農業者の所得増大**」「**農業生産の拡大**」「**地域の活性化**」の3つの目標を掲げ、平成31年3月までに一定の成果を上げることを目指し、佐賀農業・地域を支える大きな役割を果たす組織として自己改革を進めています。

自己改革について十分な結果が残せるように、私たちは、その具体策を3力年計画や各事業年度の計画をたて、組合員の皆さんの声を聴き、真剣に議論して確かな方向性を見出す協同組合としての自己改革を進めていきます。

JAからつが取り組む自己改革の一部を紹介します

## 和牛受精卵移植事業について ～子牛生産基盤の維持・拡大に向けた取り組み～

### 和牛子牛生産頭数の拡大について

現在、佐賀県内では畜産農家の高齢化による生産戸数の減少に伴い、子牛頭数が不足しています。そうした中、JAからつ畜産部では全農ET研究所の協力のもと、管内の優良和牛繁殖雌牛から受精卵を採取し、管内の和牛、乳牛、交雑種に移植を行い、子牛頭数の拡大に取り組んでいます。

### 和牛受精卵移植の取り組み結果

H28.11月からH29.11月までの実績はこちら↓

	H28.11	H29.2	H29.4	H29.6	H29.8	H29.11	
移植頭数	108	70	47	62	52	75	
受胎頭数	和牛	13	18	8	17	5	15
	交雑種	7	13	10	8	10	3
	乳牛	40	19	10	11	11	20
	合計	60	50	28	36	26	38
受胎率	56%	71%	60%	58%	50%	51%	
出生頭数	54	41	まだ生まれていないためデータなし				

出生した子牛は、JAからつキャトルステーションや畜産農家で大切に育てられます。



JAからつ キャトル ステーションへ 受け入れた 子牛の頭数	和牛	8	5			
	交雑種	7	3			
	乳牛	30	17			
	合計	45	25			
畜産農家で育てている子牛の頭数	9	16				

こうした取り組みを行うことで、受精卵を1個3万～5万円で販売し、繁殖農家は子牛販売以外の収入を確保することができ、農業者の所得増大につながっています。